

「他者に感染させない思いやりを持とう」

新型コロナウイルス感染症は、この数か月であっという間に世界中に広がり、私たちは常に感染対策を意識しながら生活するなど、暮らしに大きな変化がありました。

新型コロナウイルス感染症は、重症化してお亡くなりになる人がいる一方で、無症状や軽症者がそれと気づかず感染を拡大させていくという特徴があり、とても厄介なウイルスです。

私たちが、これからも上手にこのウイルスと付き合っていくために大切なことをお話しします。

マスクは他者に感染させないためのもの

マスクの最大の効果は、咳やくしゃみのしぶきを周囲に拡散するのを防いでくれることです。インフルエンザや新型コロナウイルスは、咳やくしゃみによって放出される飛沫から感染しますので、マスク着用は他者に感染させないための最低限のエチケットであり、重要なアイテムになります。逆にマスク着用時にウイルスを吸い込まないかどうかに関しては、残念ながら100%防護することはできません。小さなウイルスはマスクの隙間から侵入してくる可能性があります。しかし、感染者がマスクをしていれば拡散されるウイルス量が減りますので、感染拡大防止には効果的です。マスク着用の本当の目的は、「他者に感染させないため」なのです。



仕事を休む勇気を持つ

「体調が悪いけどこの程度の風邪ならがんばれそう」、「迷惑がかかるから休めない」 そう思われる方もおられるかもしれません。しかし、高熱ではなくても、咳などの症状があれば他者に感染させるリスクがあります。社内で複数人に感染させてしまったら、それこそ本末転倒です。自分の体調不良を感じたら他者に感染させない努力をするべきであり、**仕事を休む勇気を持つことが大切**だと思います。また、事業者側も、休暇が取りやすい風土を作る必要があります。みんなが協力することでクラスターの発生を防ぐことができるのです。

感染症にかかることは誰にでもあることであり、それを責めることはあってはなりません。大切なことは、感染症にかかってしまった人が他者に感染させない努力をすることだと思います。そうすれば感染拡大を防ぐことができ、誹謗中傷も消えていくのではないのでしょうか。一人一人の思いやりが、**感染対策で一番大切なこと**だと感じています。

